

平成29年度
事業報告

社会福祉法人 仁和会
府中はるみ福祉園

総 括

平成29度は、定員36名、実員38名でのスタートとなりました。

生産活動内容については、室内作業としてショッピングバッグ袋の受託作業、屋外作業としては市からの公園清掃等の受託作業を主体として日中活動を提供しました。

生産活動以外の活動としては、音楽、軽体操、ダンス、園芸、調理、にんな祭、一泊研修旅行、地域のお祭りなどの行事にも積極的に取り組みました。

この他に、肥満の防止と体力低下を防ぐために、定期的なウォーキング（運動プログラム）を導入しました。屋外の活動は、運動不足の解消のほかに、気分転換ともなり、リフレッシュ効果をあげることもできました。

利用者の平均年齢は40歳を超え、40歳代、50歳代の方が多いう状況にあり、生活習慣病予防の必要な年齢になってきました。

施設では、20歳代の方も一定数利用していることから、各年代にきめ細かく対応するなど利用者、職員が協同して生産する喜びや心身の健康を促進できるような日中活動を提供できるように取り組んで参りました。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	2
第 2 章	障害福祉サービス	3
第 3 章	健康管理	6
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	7
第 5 章	家族との連携	8
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	8
第 7 章	職員体制	9
第 8 章	会議・研修等	10
第 9 章	災害対策・事故対応	11

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は平成30年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	36名
(2) 利用現員	38名
(3) 欠員数	0名
(4) 新規利用者数	0名
(5) 退所者数	0名
(6) 長期欠席者数	0名

※府中市 33名、小金井市 1名、八王子市 1名、国分寺市 1名
武蔵野市 1名、渋谷区 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19	0	0	0
20～29	7	4	11
30～39	1	1	2
40～49	6	5	11
50～59	8	5	13
60～69		1	1
70以上			
計	22	16	38
平均年齢	40.5歳	42.9歳	41.5歳

(2) 障害支援区分

程度	男	女	計
区分 1			
区分 2			
区分 3	6	3	9
区分 4	7	11	18
区分 5	7	1	8
区分 6	2	1	3
計	22	16	38
平均	4.23	4.00	4.13

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1			
区 分 2			
区 分 3	1,309	726	2,035
区 分 4	1,654	2,545	4,199
区 分 5	1,369	218	1,587
区 分 6	496	174	670
計	4,828	3,663	8,491
平均支援区分	4. 22	3. 96	4. 11

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	12	5	
排 泄 支 援	5	6	
着 脱 衣 支 援	6	3	
歩 行 支 援	3	2	1
寝 返 り 支 援			
車 椅子 利用 者	2		1
お む つ 使 用 者	2		

第 2 章 障害福祉サービス

1. 個別支援計画

個別支援計画は、4月（前期）と10月（後期）に利用者、その家族のご要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

また可能な限り、サポートにんなの相談支援専門員に同席してもらい、サービス等利用計画の総合的な援助の方針との齟齬がないように努めました。

2. 日中活動支援

受託作業を主体にしながら、利用者の仕事が途切れないようにプログラムして活動を提供しました。年間を通じた府中はるみ福祉園の稼働率は87.6%でした。

受託作業では、ショッピングバッグの製作・割箸袋詰め・市役所の委託作業で野球場外周の除草作業、寿中央公園、押立町公園の清掃を行いました。

自主製品作りでは、これまでのビーズアクセサリー、ミサンガの他に、端切れを活用したシュシュなどの手芸品や既製品に付加価値をつけたマグネットホルダーなどの新しい小物雑貨類の作品作りに挑戦しました。

その他の活動は、下記のように実施しました。

- ダンス : 月に2回 (年24回)
- 軽体操 : 月に2回 (年24回)
- 音楽 : 4月～10月は2回 11月～3月は1回
にんな祭(9月)福祉祭り(10月)で演奏発表した
- 運動プログラム(陸上競技場ウォーク) 毎週月曜午後1時間
- 散歩 : 試行開始した
- 調理 : 3回(6月カレー・シチュー 2月クッキー)
- 園芸 : 随時 花卉および野菜の栽培(給食や調理活動の材料提供)
- 誕生会 : 毎月1回(主に土曜開園日)

3. 活動による収入と支出

・収入

	29年度	28年度
① 寿中央・押立町公園、野球場清掃 (公園72回、野球場5回、計77回)	1,908,220円	1,943,060円
② 自主製品販売	110,988円	31,230円
③ 受託(下請け)作業	1,179,966円	1,194,008円
④ イベント収入(団子販売)	121,080円	326,750円
計	3,320,254円	3,495,048円

・支出

	29年度	28年度
① 自主製品原材料	87,396円	38,924円
② 利用者工賃		
述べ支給額	3,354,238円	3,710,312円
延べ支給人数	456名	437名
平均月額工賃	7,355円	8,490円

～4,000円	～6,000円	6,000円～
4名	9名	25名

4、日課

~9:15	登園(利用者受け入れ)
9:15~9:30	着替え・朝のミーティング・ラジオ体操
9:30~10:30	午前の作業
10:30~10:45	休憩
10:45~11:45	午前の作業
11:45~12:20	昼食
12:20~13:00	昼休み
13:00~14:00	午後の作業
14:00~14:15	休憩
14:15~15:30	午後の作業
15:30~16:00	清掃・着替え・帰りのミーティング
16:00~	降園

5、年間実施行事は下記のように実施しました。

	行事	日程	担当職員
4月	桜まつり	8(土)9(日)	岡部
5月	交通安全指導 農業高校との交流会 茶摘み 軽スポーツ大会	5(月) 11(木) 20(土)	住吉 小山 加瀬
6月	歯科検診 総合健診 調理実習	2(金) 14(水)21(水) 21(水)29(木)	看護師 看護師 加瀬
7月	一泊研修旅 (千葉県 勝浦) 寿町盆踊り (職員のみ参加 販売)	13(木)14(金) 29(土)30(日)	統括：小山 住吉
8月	プール開放 商工まつり (職員のみ参加 販売) 夏季特別期間	1(火) 4(金) 14(月)15(火)	小山 住吉 施設長
9月	にんな祭 (振替休日 11日) 総合防災訓練	9(土) 4(月)	施設長 住吉
10月	福祉まつり	14(土)15(日)	小山・住吉
11月	グループ外出 ・昭和記念公園	10/31(火)	統括：小山 小山

	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ① ・カラオケ② ・八王子トリックアート 	11/2(木) 11/16(木) 11/22(水)	住吉 小山 住吉
12月	waiwai フェスティバル クリスマス会	8(金)9(土)10(日) 22(金)	住吉 施設長 飯野・貝塚
1月	新年抱負の会	4(木)	住吉
3月	ボランティアさんに感謝！ 総合防災訓練	個別毎 12(月)	佐川・施設長 住吉

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、薬と疾病の関連を状況把握して緊急時に備えました。日々、服薬した利用者様は保健日誌に記録して保管しました。

(3) 保健行事

①定期健診

隔月（4月、8月、10月、12月、2月）に嘱託医による健康診断を実施しました。

②総合健診

年に1回（6月）提携医療機関にて実施しました。

③ 歯科検診

年に1回（6月）検診を受け、結果を保護者様に連絡し対応を促しました。

年1回歯科衛生士による歯垢検査を実施し、口腔衛生への関心を促しました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行い急変に備えると共に支援員等と情報を共有し対応しました。

(5) 衛生習慣の確認

手洗い確認と歯磨き確認を隔月で交互に行い意識向上を図りました。

(6) 血圧測定

毎水曜日に実施し、平常値を把握し、状況により囑託医に相談し保護者様に報告対応しました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

9月と3月に「法人グッドパーソン規程」に基づきグッドパーソンの方に来園していただき、施設の進捗状況をお話し、食堂にてみんなと一緒に昼食を食べていただきました。昼食後に利用者または職員に日々の悩みなど聞き取りを実施しました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。規程に基づく本年度の苦情はありませんでした。

役 割	氏 名	連 絡 先
くじょうかいけつせきにんしゃ 苦情 解決 責任者	こむろ あつみ しせつちょう 小室 厚美 (施設長)	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
くじょううけつけたんとうしゃ 苦情 受付 担当者	こやま ひろし ふくしせつ 小山 浩 (副施設 ちょう 長) さがわ かおり 佐川 香央理 (しえんいん 支援員)	0 4 2 - 3 3 3 - 7 5 5 5
だいさんしゃいん 第三者 委員 (グッドパーソン)	いで まさとし さま 井出 政俊 様 たなか まちこ さま 田中 眞知子 様	0 4 2 - 3 6 4 - 0 6 3 7 0 4 2 - 3 6 0 - 1 2 9 4

3. 虐待の防止

平成29年11月に法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。集計結果からは、個別事案はあるものの概ね良好な傾向にあるとの評価を頂きました。

平成30年 2月法人研修として、白梅学園大学教授 堀江まゆみ先生の講師により「虐待防止研修・障害者虐待防止とその対応について」を法人職員、利用者家族へ実施しました。

第5章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

4回実施し、情報を共有しました。(6/28.8/30.12/13.3/14)

2. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるようにご家族と随時、連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また随時、困りごとなどある場合は相談に応じました。

第6章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続きや障害者支援区分の認定調査等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬がないように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れを積極的に行いました。

(1) ボランティア

- ・毎週月曜日から木曜日まで5名のボランティアさんに通年でお越し頂きました。

- ・夏休みの期間には、府中市社会福祉協議会の主催している夏のボランティア体験において親子ボラ、中学生・高校生のボランティアをそれぞれ受け入れました。
合計4名
- ・府中市内の小中学校の新任及び10年目の先生のボランティア研修受け入れをしました。合計2名

(2) 実習生

- ・東京都社会福祉協議会を通じて教員になられる方の介護体験実習で4名の方を受け入れました。
- ・中学生の職場体験実習を受入れました。
- ・三菱東京UFJ銀行の職員の新任研修で4名の方を受入れました。

(3) 都立特別支援学校等の現場実習の受け入れ

- ・ご要望に応じて、学校卒業後の日中活動場所の体験実習を受け入れました。
(8/9 都立武蔵台学園 1名、8/22 都立武蔵野学園 1名)

4. 見学者の受入れ状況

- ・都立武蔵台学園 や 都立府中けやきの森学園など支援学校の生徒の見学を受入れました。
(7/26 府中けやきの森学園高等部 保護者 20名 12/1 武蔵台学園高等部 生徒 16名・教員 12名)
※その他、個人的な見学者についても随時受け入れを行いました。

5. 地元町内会との連携

- ・寿町 納涼盆踊り大会参加 (7/29・30)
- ・寿町 防災訓練参加 (5/27)
- ・寿町 町内会新年会参加 (1/27)

第 7 章 職員体制

1. 採用

- | | | |
|---------|-------------|----------|
| ・吉村 隆子 | (常勤・生活支援員) | 4月 1日付 |
| ・渡辺 雄二 | (常勤・生活支援員) | 4月 11日付 |
| ・飯野 恵美 | (常勤・生活支援員) | 9月 5日付 |
| ・福島 正則 | (非常勤・ドライバー) | 9月 12日付 |
| ・貝塚 正晃 | (常勤・生活支援員) | 9月 13日付 |
| ・宇戸 知恵美 | (非常勤・生活支援員) | 10月 10日付 |

- ・江藤 征兒 (非常勤・生活支援員兼ドライバー) 12月1日付
- ・南 健 (非常勤・ドライバー) 12月11日付
- ・高野 民樹 (非常勤・生活支援員兼ドライバー) 1月1日付
- ・安部 宝根 (非常勤・相談支援専門員) 1月1日付
- ・菊地 康久 (常勤・生活支援員) 2月13日付
- ・米井 一孝 (常勤・生活支援員) 3月1日付

2. 退職

- ・吉村 隆子 (常勤・生活支援員) 5月16日付
- ・岡部 惇夫 (常勤・生活支援員) 5月31日付
- ・渡辺 雄二 (常勤・生活支援員) 9月19日付
- ・加瀬 亜理沙 (常勤・生活支援員) 9月30日付
- ・貝塚 正晃 (常勤・生活支援員) 1月31日付
- ・松本 泰司 (非常勤・ドライバー) 1月31日付
- ・江藤 征兒 (非常勤・ドライバー) 1月31日付
- ・飯野 恵美 (常勤・生活支援員) 2月28日付
- ・木村 夏子 (常勤・生活支援員) 3月31日付
- ・住吉 慎吾 (常勤・生活支援員) 3月31日付
- ・小室 厚美 (常勤・施設長) 3月31日付

3. 異動

(1) 転出

- ・佐藤 正教 (常勤・施設長) 4月1日付
府中さくらの杜 施設長へ

3. 兼務

- ・小室 厚美 (サポートにんな管理者兼相談支援専門員兼務 平成29年4月1日～平成30年3月31日)

第 8 章 会議・研修等

1. 会議

- (1) 職員会議 12回(毎月)
- (2) 保護者会 年4回(6月、8月、12月、3月)
- (3) 管理職会議 毎月第1、3、最終水曜日等
- (4) 主任会議 12回(毎月第3火曜日等)

2. 研修

(1) 法人内研修

法人内全体研修は、下記の5回が実施されました。

- ・ 6 / 17 自己の価値観を見つめる (法人職員)
- ・ 9 / 30 「身近なものを使って作る季節の製作」について
(講師 東京こども専門学校専任講師 宍戸 千雅)
東京都社会福祉協議会登録講師派遣事業による研修
- ・ 11 / 18 (講師 社福 東京聖新会 理事・施設長 尾林 和子)
東京都社会福祉協議会登録講師派遣事業による研修
- ・ 2 / 17 虐待防止委員会研修 (講師 白梅学園大学 教授 堀江まゆみ)
「障害者虐待防止とその対応について」
- ・ 3 / 17 衛生委員会研修 (講師 医王病院 院長 島田幸男 仁和会産業医)
「生活習慣病について」

(2) 外部研修

- ・ 東京都社会福祉協議会法人協議会 1名
- ・ 相談支援専門員研修 1名
- ・ 福祉従事者初任者研修 1名
- ・ 福祉従事者中堅研修 1名
- ・ 相談支援専門員現任研修 1名
- ・ 歯と口の健康づくり実践報告会 1名
- ・ 安全運転管理者講習 1名
- ・ 強度行動障害基礎研修 1名
- ・ 都立武蔵台学園学校公開 1名
- ・ 発達障害研修～思春期の関わり方～ 1名

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT＝オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第9章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検
年2回 実施しました。
2. 避難訓練等
以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区 分		内 容
4月	自主防災訓練	4/10	2F 厨房より出火想定
5月	自主防災訓練	5/9	地震想定
6月	自主防災訓練	6/14	2F 厨房より出火想定
7月	自主防災訓練	7/20	地震想定
8月	総合防災訓練	8/18	2F 厨房より出火想定
9月	自主防災訓練	9/4	地震から2F 厨房より出火想定 +水消火器訓練
10月	自主防災訓練	10/17	2F 厨房より出火想定
11月	自主防災訓練	11/15	地震想定
12月	自主防災訓練	12/14	2F 厨房より出火想定
1月	自主防災訓練	1/15	地震想定
2月	自主防災訓練	2/20	2F 厨房より出火想定
3月	総合防災訓練 (都合により自主防災訓練 に変更)	3/12	地震から2F 厨房より出火想定 +水消火器訓練

3. 事故について
施設賠償保険適用事案はありません。

4. その他

今年度は第三者評価の実施はありません。